



報道関係者各位

# Press Release

2017年4月11日

武庫川女子大学

ガロ-株式会社

プロジェクトURL <http://www.garo-net.co.jp/kaigo/>

## 武庫川女子大学と子供下着メーカーのガロ-株式会社

共同開発の成果である児童介護用下着を4月20日より「バリアフリー2017」に出展、販売開始。

武庫川女子大学 生活環境学部 情報メディア学科 大森いさみゼミ (別添※1) と子供下着メーカーのガロ-株式会社 (所在地: 大阪市中央区、代表: 堀田泰弘) は共同開発した、病気や障がいのある児童が着脱しやすい下着を4月20日(木) から22日(土) にインテックス大阪で開催される「バリアフリー2017」(別添※2) に出展します。同時にインターネット販売を開始し、介護業界に向けて広くPRします。

武庫川女子大学大森いさみゼミの学生とガロ-株式会社は、近畿経済産業局主催の産学協働プロジェクト「Ai-SPEC (アイスペック)」(別添※3) に参加・マッチングされたことを契機に、2016年6月より共同開発を進めてきました。同社は障がい児の保護者からの要望を受け、児童用の介護下着の提供を企画していましたが、製品開発にあたって、児童介護の現場で求められている製品特性の把握に課題を抱えていました。そこで、大森いさみゼミの学生がアンケート調査や養護学校での保護者や施設職員へのヒアリング調査をした結果、以下の四つのニーズが明らかになりました。

- ・ 購入しやすい価格帯であってほしい。
- ・ 7歳以上の児童が着られる大きいサイズの、前開きのロンパース(つなぎ服) がほしい。
- ・ 障がい児用の下着は、障がいがあっても着せやすいように伸縮性があり、肌にも負担が少ない素材にしてほしい。
- ・ 気管切開している児童が外出時に喉元を隠せる、大きいサイズのかわいいスタイ(よだれかけ) がほしい。

以上の調査に基づいた製品企画は、「Ai-SPEC」に参加した23チーム(10大学、21企業)の中で優勝し、開発に至りました。今回の協働を機に、今後一層、利用者の声を反映した、障がい児・その保護者の直面する課題の解決に寄与する製品の開発を大学と企業とで連携し進めて参ります。

### ◆ 製品概要

<男児用>

<女児用>



(表面)

(裏面)



製品名: 子供用介護下着 前開き半袖ロンパース  
 価格: ¥1,500 (税込)  
 材質: 綿 100%  
 販売: <http://kawaii-kaigo.garo-net.co.jp/>

製品名: 子供用スタイ  
 価格: ¥800 (税込)  
 材質: 綿 100%  
 販売: <http://kawaii-kaigo.garo-net.co.jp/>

### ◆ ゼミ概要・会社概要



ゼミ名: 武庫川女子大学 生活環境学部 情報メディア学科 大森ゼミ  
 教員: 大森いさみ  
 URL: <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hi/>

#### ガロ-株式会社

会社名: ガロ-株式会社  
 代表者: 堀田泰弘  
 URL: <http://www.garo-net.co.jp/>

### ◆ 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

会社名: ガロ-株式会社  
 部署名: 総務部 総務課  
 担当名: 瀬村 隆文 (せむら たかふみ)  
 携帯電話: 090-9308-4311  
 E-mail: [t.semura@garo-net.co.jp](mailto:t.semura@garo-net.co.jp)  
 電話: 06-6231-9851  
 FAX: 06-6231-9855  
 住所: 大阪市中央区瓦町四丁目5番3号

◆ 武庫川女子大学×ガロー株式会社 Press Release 別添注釈

(※1) 武庫川女子大学 生活環境学部 情報メディア学科 准教授 大森いさみゼミ

[http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hi/kenkyu\\_introduction/ohmori.html](http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hi/kenkyu_introduction/ohmori.html)

研究分野：メディア社会学×食の地域研究

担当科目：メディア社会学への招待、コンセプトデザイン論、メディア編集演習、国際メディアジャーナル演習

ゼミでの取り組み例：

AC ジャパン CM 学生賞への挑戦（過去にグランプリ、2012 年度と 2013 年度は奨励賞を受賞）

JATA 旅行企画コンテストへの挑戦（2013 年度 グランプリ、準グランプリを受賞）

(※2) バリアフリー 2017

<https://www.tvoe.co.jp/bmk/>

23 回目の開催を迎える、西日本最大級の介護・福祉の総合展。『慢性期医療展 2017』、『看護未来展 2017』と同時開催。3 展合わせ、378 団体が出展。西日本最大級の介護・福祉・高齢者医療・看護を網羅した展示会として業界関係者から高い注目を集めている。要介護者数が増加する中、その必要性がますます重要視される“介護と医療の連携”。ブース展示やセミナーの開催を通して、さらなる連携強化を推進する。



(※3) 産学提携企画「Ai-SPEC」

<http://www.kansai.meti.go.jp/2sangyokikaku/koyou/jinzaikakuho/ai-spec.html>

学生が中小企業の経営課題の解決に向けて取り組み、その成果を若者目線で広く発信することにより相互理解を深めることを目的とし、近畿経済産業局が平成 28 年度より実施している産学協働プロジェクト。「Ai-SPEC」の主旨は、学生と中小企業の協働を通じて、

1. 中小企業の魅力・ポテンシャルへの学生の理解促進と、就職活動における選択肢拡大
2. 新商品の開発や新たな市場の開拓などによる中小企業の魅力向上と、将来の人材確保

を図ることである。



(ガロー株式会社と協働した大森ゼミ学生「Ai-SPEC」優勝時の写真)



(大森ゼミ学生とガロー株式会社の共同風景)